

新町の基本目標

基本理念『水と緑のうるおい 人の営みが奏でる未来のふるさと』の実現にむけて、新町では、4つの基本目標のもとでまちづくりを進めます。

第1項 澄んだ水 緑豊かな美しいまちづくり

新町は、十石峠から八ヶ岳山麓の麦草峠までの東西に長く伸びる豊かな森林地帯や水資源、さわやかさを感じさせる高原など、手付かずの自然環境に恵まれた地域です。この魅力ある自然環境と共生するとともに、調和のとれた景観のよい美しいまちづくりを進めます。

第2項 笑顔があふれ 元気で誇りが持てるまちづくり

魅力あるまちづくりのためには、笑顔が大切であり、そのためには、子どもから高齢者まで、いきいきと元気に暮らし、人と人とのふれあいを大切にすることが必要です。人の元気のためには、健康と生きがいを、地域社会の元気のためには、情報の発信による他文化、他地域との交流を図り、一人ひとりが尊重され、「このまちが好きだ、このまちに住みたい」と誇りをもって、楽しく、安心して住むことができるまちづくりを進めます。

第3項 ものづくり 未来を拓く産業のまちづくり

まちが発展していくためには、まちが元気であることが必要であり、まちの元気のためには産業の活性化が求められます。そこで、地域が育んできた自然や文化・伝統を活かし、既存産業の振興を図るとともに、「ものづくり」の原点である創造性、チャレンジ精神からの新産業の育成、地産地消、各産業との連携などを推進することにより、地域全体で未来を拓くまちづくりを進めます。

第4項 住民が主役 住民の手によるまちづくり

将来に向けて住みよく、安心して子育てができ、だれもが住みたくなるまちづくりを進めるためには、住民と行政が協働してまちづくりを推進していくことが不可欠です。そこで、住民の声や知恵をできる限りまちづくりに生かし、助けあいと自立の心で、互いに協力して住民の手によるまちづくりを進めます。